

山行番 青年部山行  
日 時 2014.9.14 (日) 晴  
山 域 毛無山塊・毛無山 (1946m)  
標高差 上り 麓山の家約850m～毛無山1946m＝約1100m  
下り 毛無山1946m～根原約960m＝約986m  
参加者 1. 勝又陽 (車) 2. 勝又薫 3. 掛橋 4. CL千葉 (車) 5. SL井上 = 5名  
会費 1500円

年間計画ではリバーウォークだったがさすがに寒かろうということで今回の計画になった。このコースは最近計画されたが変更になり実施されなかった毛無山での縦走だ。当初は、2台の車で行き1台をデポすることになっていたが、それは変更され車1台で根原に駐車し、富士急バスで「根原」から「朝霧高原グリーンパーク」まで行き、そこから登山開始ということになった。

が、状況は展開し、当初の2台で行くことになった。なぜか。千葉さんが寝坊し集合予定の下土狩駅に來れなかった。そのため千葉さんは車を出し、道の駅朝霧高原で合流することになった。いつもの後藤さんは1週間前の剣岳北方稜線で脹脛を痛め静養のため、後藤さん不在のチームとなった。勝又陽さんは3ヶ月半ぶりの山で、復帰戦となる。

早朝の空はまだ星空である。4:30下土狩駅で勝又夫婦は千葉さんをピックアップ、のはずが前述の通り不発。4:35長泉なめり駅で掛橋さんと井上をピックアップ成功。その後、道の駅で千葉さんの到着を待つ。道の駅では全国からの車が停まっており、夜を明かしたようだ。富士山の左下から朝日が登り、幾何学的な光線を斜めに発し、富士山を幾何学的なラインで切る珍しい光景を楽しんだ。

風が寒い。道路の表示では13℃だった。千葉さん合流後、根原に入り、ゲートが閉まっている手前の駐車場にジムニーを停める。駐車料金500円。オデッセイに5人乗り、麓駐車場へ向かう(ここでも駐車料金500円)。他の車は4台くらいあった。

6:20登山開始。バスを使わなかったのでバス停から駐車場までの40分を短縮できた。この登山道が約1000mを一気に上る急登であることは覚悟している。約100mごとに1合目から順番に看板があり、皆でそれを声に出して励ましあった。空気は冷たく、時折吹く風が涼しく心地よい。

口から入る空気が美味しい。不動の滝は水量多く、迫力がある。50mくらいあるだろうか。足元にはいろいろな色形のキノコが目を楽しませた。見たことがないキノコを見て、ケナシカエンダケなどと勝手に名前を付け遊んだ。何度も岩が現れ、よじ登る。展望台では、麓のオートキャンプ場に集まる車とテントが見える。ざっと300張は見える。あまりの数の多さにむしろ気持ち悪い気がする。天子、長者の山なみが折り重なり見事である。トリカブトの群生がありきれいな濃い青色だった。

9:24毛無山頂上到着(1946m)。先客は1人。北海道網走から出張で来ている重機のオペレータとのこと。雲をまとい頭だけ出す富士山を正面に眺める。稜線を歩き、少し登ると大見岳9:46(1959m)。毛無山塊の最高峰とのこと。看板では左にそれた先にある1mちょっとの岩の上とある。以前来た時は、ここではなく、先にある右手の場所だったが、この日のその場所はトラロープが張られ入れないようになっていた。

立ち入り禁止の文字はない。近くにあった古い看板には、ここが本当の大見岳のような書き込みがされていた。どちらの看板も本格ではないので信用し難い。地図ではこれまでの位置のほうが大



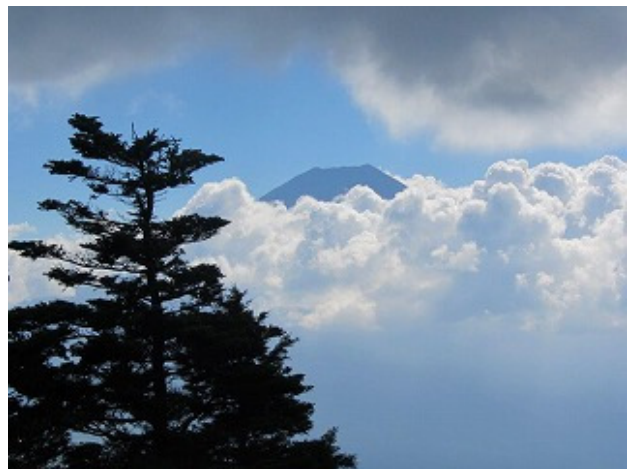
あさぎり道の駅



ヘリ・レスキューポイント



南ALPS方面



北海道の方？



見岳山頂に見える。タカデッキで昼食の計画だったが、笹が生い茂る道を進むうちに通過してしまった。千葉さんが、地図を見てさっきの場所がタカデッキだと教えてくれた。雨ヶ岳とだけ書かれ、板の右側が斜めに切られている新しい看板がいくつもあった。矢印を意味するだろう板の形状は分かりにくく、ぱっと見ではそこが雨ヶ岳のように感じるため標識としてはいまいちの出来だ。

11:02 雨ヶ岳 (1772m) 到着。タカデッキは小道しかないが、ここはシートを広げる十分なスペースがとれる。太陽が顔を出し暑くなるが、びっしょり濡れた衣服の汗を乾かせてくれた。暑いゆえビールがうまい。勝又さんの茄子の揚げびたしとこんにゃくの唐辛子いためビールによくあう。後藤さんからの差し入れの自家製落花生をつまみながら話に花が咲く。気がつけば1時間をこえるのんびりとした休憩だった。

12:15 下山開始。掛橋さんから端足峠の先の竜ヶ岳に行く提案があったが、往復2時間かかるため次回の楽しみに取っておくことにした。パラグライダーが4機、頭上で旋回している。急な下りで、木の根に足を取られないよう注意して歩く。時折、本栖湖が見え、濃いブルーの湖面が美しい。13:05 端足 (はした) 峠。鋭角に曲がり根原を目指す。A 沢貯水池を通過し14:00 根原駐車場着。4人乗りジムニーに5人乗り、麓の駐車場へ戻る。国道から、今日ぐるっと歩いた軌跡が見え、良く歩いたねと感想を話す。

道の混雑を予想し、温泉をやめそのまま帰ることにした。帰りの道はやはり混雑していた。山梨側への道はもっと混雑し、ほぼ動かない渋滞を起こしていた。長泉に到着し一度解散し、17時に下土狩満貫に集合し反省会を行った。疲れた体に生ビールがしみた。

#### その他の記述 (後藤)

1. 参加者は各自、参加者の携帯電話番号を把握して参加して下さい。